

語学研修レポート

～韓国 忠州・ソウル研修～



2019年 8月19日～8月25日

子ども学部 心理カウンセリング学科

学籍番号 19G018

1年 副島 真菜

1 参加する動機、きっかけ

私が将来目指している職業は「公認心理師」だ。近年、日本に住むのは日本人だけではなく、様々な国の人達が訪れ生活をしている。心理職もこれから「カウンセリング」を行う人々は日本人だけではないはずだ。そんな時大切なのは、多文化に対する理解だと思う。

その人々の生活文化の背景に着目し、適切なカウンセリングを行いたい。この「韓国語学研修」を通して、韓国の人々の心理・文化・生活面を意識してみたい。

2 参加前に行った準備

- ・プログラム確認
- ・ホストファミリーへのお土産
(入浴剤・羊羹) 喜んでもらった。
- ・危機管理セミナーへ参加
- ・「OSSMA」アプリダウンロード
- ・語学学習 (英語・韓国語)

3 研修中の出来事・感想・専門テーマ・比較文化について

研修中の出来事

- ・韓国語講座
- ・伝統お菓子・バック作り
- ・芳香剤作り
- ・観光
- ・韓国伝統衣装体験
- ・文化体験 (ホームステイ)

比較文化について

- ・韓国では、食べ物の追加が無料だ。(一般的な食堂など)
- ・町に行くとだいたい、「カップル」で歩いている。
- ・食べ物をシェアして食べる (焼き魚は、家族で1つ)



専門テーマについて（心理学）

韓国で町の中に行くと必ずと言っていいほどカップルで歩いている人々が多い。日本でも、カップルは沢山いるが、必ず恋人と行動をいつもするわけではないはずだ。1人の時間も大切にしている。しかし、韓国は少し違う理由は、文化の背景が大きく影響していた。まず、勉強時間・学校生活の違いだ。学歴社会と言われるだけあり、日本との勉強量の差は圧倒的だ。その分自分がやりたいことは削られていってしまう。だから、韓国のカップルと一緒に過ごす事ができるのは、土日がほとんど。また、お互いを強く求め合う傾向があるとされている。韓国の女性は気が強いと一般的に認識されているのはこのことからだ。

しかし、考えを変えてみると、**強く求め合う＝相手の事を深く考えている。**と認識できるのだ。

感想

韓国の文化に触れることで、様々な視点から見る事ができた。また、言葉が通じにくくても、気持ち大きく伝わる事が発見できた。伝統衣装体験が心に残った。買い物も楽しかったし、人々が親切だった。

4 参加する前から帰国した後の成長・勉強になった事

一人で飛行機に乗れるようになった事。自分に自信が付いた。
コミュニケーションの大切さ。

5 後輩へのプログラムの勧め言葉

参加して見つけられる事が沢山あります。また、「語学研修」の科目で単位認定もできました。ぜひ参加を。

